

第 3 回 青梅市公共交通協議会

スケジュール等について

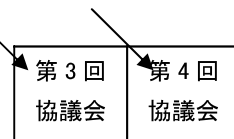
1. スケジュールについて
2. 公共交通の利用実態調査について

平成24年2月7日

1. スケジュールについて

本調査は、以下のスケジュールに沿って実施する。

	平成 23 年			平成 24 年		
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
① 青梅市の現状把握						
青梅市における基礎環境の整理 ▪ 地理的条件 ▪ 社会経済情勢 ▪ 生活基盤の状況	■ ■ ■					
公共交通網の現状整理 ▪ 鉄道の状況 ▪ バスの状況 ▪ タクシー、その他の状況	■ ■ ■					
② 市民の意向調査						
市民アンケート調査 ▪ 調査設計 ▪ (実施、データ化、単純集計) ▪ 分析、問題点把握、とりまとめ	■ ■ ■	■ ■	■			
市民団体ヒアリング調査				■ ■		
③ 公共交通の利用実態調査						
路線バスの OD 調査、利用者アンケート調査 ▪ 調査設計 ▪ (実施、データ化、単純集計) ▪ 分析、問題点把握、とりまとめ	■ ■ ■	■ ■	■	□	□	
④ 課題の抽出・整理						
課題の抽出・整理 ▪ 現状把握からみた課題 ▪ 市民の意向からみた課題 ▪ 利用実態からみた課題			■ ■ ■		□	
⑤ 公共交通網の見直し基本方針の検討						
▪ 公共交通体系整備の基本方針 ▪ 青梅市における公共交通体系のあり方 ▪ 公共交通網見直し基本方針の検討				■ ■	■ ■ ■	
○ とりまとめ						
▪ 次年度の進め方 ▪ 報告書の作成					■ ■	
⑥ 協議会の運営・支援	第 2 回 協議会			第 3 回 協議会	第 4 回 協議会	第 5 回 協議会

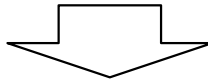


2. 公共交通の利用実態調査について

路線バスOD調査の実施方法を、以下のとおり変更する。

【第2回協議会での報告した実施方法】

- 調査対象は平日に運行している市内の全系統・全便として、調査は平日・1日とする。
- 添乗調査員2人による、調査票（調査カードA）の配布・回収方式により実施する。
また、日中閑散時、状況に応じてA4片面程度の記入式調査票（調査カードB）を使用する。



【実施方法の変更案】

（1）添乗調査員による調査を行う系統

都営バス、西武バスの全系統については、添乗調査員による調査を実施する。

- 調査対象は平日に運行している市内の全系統・全便として、調査は平日・1日とする。
- 添乗調査員2人による、調査票（調査カードA）の配布・回収方式により実施する。
また、日中閑散時、状況に応じてA4片面程度の記入式調査票（調査カードB）を使用する。

（2）運賃器データを基本に調査を行う系統

西東京バスの全系統については、運賃器データを基本として調査を実施する。

- 調査対象は平日に運行している市内の全系統・全便として、調査は平日・1日とする。
- 運賃器のバス停間ODデータを基本として、乗務員による降車人数のカウント調査（総利用者数の把握）と、サンプル的に添乗調査員による調査（個人属性や券種の把握）を行い、運賃器データを補整する。

調査カードA

バス交通調査カード

本日は、青梅市内のバスのあり方を検討するため、利用状況の調査を行っています。

誠にお手数ですが、以下のアンケートで当てはまるところに**切り込み**を入れて、お降りの際に調査員にお渡しください。青梅市

調査票番号

降車バス停番号

あなたの性別は？

1 男性 2 女性

切り込み

あなたの年齢は？

1 12歳以下 2 13～64歳

3 65～74歳 4 75歳以上

切り込み

このバスの利用目的は？

1 通勤 2 通学

3 買物 4 病院

5 帰宅 6 その他

切り込み

あなたの乗車券は？

1 定期券 (IC定期券含む) 2 ICカード

3 現金 4 回数券(紙)

5 シルバーバス 6 その他(1日券、福祉乗車証等)

切り込み

ご協力ありがとうございました

調査カードB

調査票番号

降車バス停番号

青梅市の公共交通に関するアンケート

- 現在、青梅市では、バス交通の今後のあり方を検討するため、バス利用者の方にアンケート調査を行っています。ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。
- 本票はバスを降りる際に、記入の有無に関わらず調査員にお渡しください。

(1) あなたのことについてうかがいます。

性別	1) 男性 2) 女性
年齢	1) 12歳以下 2) 13～22歳 3) 23～44歳 4) 45～64歳 5) 65～74歳 6) 75歳以上
このバスの利用目的	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) 帰宅 6) その他
乗車券	1) 定期券(IC定期券含む) 2) ICカード 3) 現金 4) 回数券(紙) 5) シルバーバス 6) その他(1日券、福祉乗車証等)

(2) 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあり、青梅市では路線バスの運行を維持するため、その赤字への補助として、年間の1億5千万円を税金によって公共負担しています。

① 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存知でしたか。(1つだけ)

- 1) 知らなかった 2) 路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった
3) 知っていた

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき
2) 公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき
3) 公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、減らすべき
4) 路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない

③を
選んだ
方

③ 公共負担を減らすために、どのようにするべきだと思いますか。(1つだけ)

- 1) 運行本数を減らすなどして、運行経費を削減する
2) バス利用者を増やすなどして、運賃収入を増やす
3) 運賃を値上げして、運賃収入を増やす
4) 路線バスよりも、公共負担の小さい交通手段や方法に切り替える
5) その他→具体的に

(3) 青梅市内の公共交通について、問題点や今後のあり方に関して、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。